



【池上曾根遺跡】

南北 1.5 km、東西 0.6 km に広がる「池上曾根遺跡」は、弥生時代（2300～1800 年前）の巨大環濠集落でした。発掘で確認された大型建物、我が国最大の大楠の井戸（直径 2.3m）などから、それまでの弥生時代のイメージは一変させられました。遺跡を歩いていると弥生時代のムラの息吹が聞こえてきそうです。



【弥生文化博物館】（我が国唯一の弥生文化専門の博物館）



【信木の森神社（葛葉稲荷神社）】

『枕草子』に「森はしのだの森」と記されている。阿倍晴明の母は白狐であったという伝承の地。

【千枝の楠】

花山天皇熊野行幸の際、「千枝の楠」の称を賜る。

【千利休作ふくろうの灯籠】



【正体がばれた葛の葉が筆を口にくわえ障子に書き残した歌】

恋しくば たずね来てみよ 和泉なる  
信木の森の うらみ葛の葉

【姿見の井戸】

白狐が娘（葛の葉）に化身したときに鏡の代わりに姿を写したい井戸